

## 医療者・報道関係者対象セミナー 開催のお知らせ

予防接種とコミュニケーション ～メディアや専門家が伝えていること、いないこと～

予防接種は、人々を地域感染症から守る1次予防の不可欠な手段です。しかし、その普及とともに感染症の怖さへの関心や意識は低下し、その必要性を伝えることが困難になってきています。予防接種と有害事象との因果・相関関係が未整理のまま大きく報道されたり、適切な情報にアクセスできないためにおこる誤解やミスコミュニケーションが課題となっています。

このたび、国際会議に参加するために来日される海外のエキスパートの方にもご参加いただき、日本で起きている予防接種とコミュニケーション、情報発信について皆様と共有・議論させていただくことになりました。

関心をお持ちの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日時	2017年8月23日(水)13:00 受付開始 セミナー: 13:30～16:30 交流会(名刺交換会): 16:30～17:00(会場は当日お知らせいたします)
会場	国立国際医療研究センター 国際医療協力センター棟 5階 大会議室
テーマ	予防接種とコミュニケーション～メディアや専門家が伝えていること、いないこと～
参加対象者	医療関係者・報道関係者・製薬関係者・行政関係者
参加費	無料

★取材希望の方は、当院広報部へご連絡ください。当日受付も可能です。

★同時通訳はありませんが、必要時日本語解説がつきます。

<話題提供> 進行 予防接種支援センター長 金川修造

医療者の立場から：ワクチン接種、保護者や当事者支援

医療者の立場から：女性の健康支援

報道の立場から：医療関連の取材をする立場

当事者の立場から：当事者・保護者からみたワクチン情報

<パネルディスカッション>

報道、専門家は何を伝え、伝えていないか～海外の HPV ワクチン事情を例に～

モデレーター：

国立国際医療研究センター 予防接種支援センター長 金川修造  
北海道大学医学部総合女性医療システム学講座 Sharon Hanley

パネリスト：

Dr. Tanjin Dorji  
Chief, Healthcare and Diagnostics Division, Department of Medical  
Services,  
Ministry of Health, Bhutan

Dr. Saidatul Norbaya Buang  
Chief Senior Assistant Director, Family Health Development Division,  
Ministry of Health, Malaysia

Associate Professor Julia M. L. Brotherton  
Director, National HPV Vaccination Program Register,  
Victorian Cytology Service, Australia

Dr. Palle Valentiner-Branth  
Head of Surveillance,  
Dept. of Infectious Disease Epidemiology & Prevention,  
Statens Serum Institut, Denmark

Dr. Brenda Corcoran  
Director, National Immunisation Office,  
Health Service Executive, Ireland

主催 国立国際医療研究センター (National Center for Global Health and  
Medicine)DCC 予防接種支援センター  
国際医療協力局 グローバルヘルス政策研究センター (Institute for Global  
Health Policy Research)

協力 北海道大学医学部総合女性医療システム学講座  
一般社団法人 日本家族計画協会